



「私の日本名城巡り」

(写真は竹田城)

私がお城巡りを始めたのは2017年10月でした。友人から雲海の城として有名な「竹田城」の撮影に一緒に行こう、と誘われたからです。その際姫路城にも立ち寄ったことで、姫路城で「日本百名城」のガイドブックを見つけて購入しました。有名な百名城を巡るとともに、全国旅行もできる(行ったことがないところへ旅行ができる)と簡単な気持ちから始めた100名城巡りですが、その後「続・日本百名城」が選ばれてガイドブックも発売されていることがわかり続編のガイドブックも購入しました。百名城を巡るなら続編も一緒にして巡らないと、同じ地方に2度行くことになってしまいます。合計二百名城を巡ることになりましたが、交通の便が良くない名城も多くあり、車で出かけるほうが行きやすいと考え「全国の都道府県を自分の車で走ろう」と目標が追加されてきました。休みが取れたら、関東近郊、南東北、静岡県などに日帰りで行っていました。沖縄には2020年11月(沖縄はレンタカーで回りました)に、北海道には2021年7月にそれぞれ遠出をしました。(12日間で4,200Km走りました)昨年秋に、中国地方の城をめぐり、残りは九州地区のみとなりました。

いうまでもなく、城は軍事上の防御施設として築かれており、群雄たちが様々に工夫をしたお城が全国に3万~4万乱立することになりました。山の上や段丘などの立地を利用し、技術革新により石垣、堀や建物でさらに防御強化が施された要塞となってきました。訪れる際には城主がどんな思いでこのお城を設計したのかの視点で考えながらお城を見るようにしています。残りのお城は31ヶ城とゴールはまだまだ遠しといった感じですが、今年中には全城制覇したいと考えているこの頃です。

写真・文 健康歩こう会 柿本 政昭

CONTENTS

- ◇事務局便り 2ページ
トピック/お知らせ/会員情報
- ◇NEW 会社近況 2ページ
- ◇会員投稿 3~4ページ
NEW 短い便り、塵裡偷閑
- ◇同好会便り 5~6ページ
- ◇ブロック便り 7~8ページ
各ブロックの情報/お知らせ
- ◇活動カレンダー 8ページ
同好会日程/行事予定

五風 十雨

トランプ劇場第2幕が切って落とされた。相変わらずの「威し外交」で世界を困惑させているが、大統領就任後早速ご機嫌伺いに石破首相が持参したお土産は金色に輝く兜だった。正式名称は「亜麻色緘満天星兜」と言うそうだが、この中に緘(おどし)という文字が隠されている。元来は「威」(おどし)と書いたそう。貿易には関税をちらつかせ、戦争仲裁では我田引水の調停案と威圧的な外交方針が次々と打ち出され、内政でもおかしな方向に進んでいる。再来日の際には、ゴルフでなく京都の日本庭園で「鹿威し」の澄んだ音を聞かせてあげたい。球春を迎え、オープン戦が始まった。金満球団は今年も仁義なき補強をしているが果たしてどの球団が日本一になるのだろうか。一方アメリカ大リーグには今年も日本から有望選手達の関税無き輸出が続き、昨年覇者の金満球団ドジャースは昨年の大谷翔平、山本由伸に加え今年は佐々木朗希を獲得して、東京ドームで開幕を迎える。一年前の韓国での開幕戦では大谷の通訳水原一平事件が起きた。一緒に過ごしたエンゼルス時代に大谷が被った「ホームラン兜」の方が大統領のより先輩だが、こちらには「勝って兜の緒を締めよ」という言葉を贈りたい (H)

事務局便り

社友 Tokyo 2025 年春号をお届けします。
 日増しに暖かくなり桜の蕾も少し膨らみを見せ、春らしい日差しを感じる季節となりましたが会員の皆様におかれましては、恙なくお過ごしのことと存じます。
 日本経済は、デフレからインフレの状態にあり物価上昇の要因で家計の負担が大きくなっています。政府は、所得税などの定額減税や賃上げによる消費喚起でデフレ脱却を確かなものにする動きをしており、日本銀行によるマイナス金利政策の解除に伴って「金利のある経済」への対応が始まりました。
 さて、当支部は発足30周年を経て、新たな取組みとして①会員同士の交流の場づくり ②情報流通の強化 ③見ていただくホームページ作りの3つのテーマについて具体的に進めていますが、その中で②については、当会報「社友 Tokyo」の紙面の見直しを今号から順次始めました。**NEW**とあるのが新コーナーになります。また③については支部ホームページを10年振りに刷新してリニューアルオープンを4月に行ないます。(後述)
 これからも魅力ある社友会づくりを進めてまいりますので、より多くの会員の皆様の参画をよろしくお願ひします。

●2025年年賀会を開催しました

首都圏地区年賀会が1月18日(日)上野公園下の「グレースバリ上野」で70名の参加を得て開催されました。渡部支部長の挨拶では、東京支部発足30周年の節目を迎えられたことへの感謝の言葉に続き、支部の現状として5年間の会員構成推移の話があり、60歳代が20%を下回り、逆に80歳代が35%を越え、社友会活動の鈍化を危惧している。かかる中、2025年度活動方針として3つのテーマを掲げ「魅力ある社友会づくり」に取り組むとの説明がありました。
 続いて年男の星 民夫様より乾杯のご発声で懇親会に入りました。しばらくご歓談の後、昨年の秋にデビューした新人歌手里野鈴妹(さとのすずめ)さんより持ち歌の「バカ酒場」のほか懐かしい演歌メドレーを披露いただき伸びのある歌声で大いに盛り上がり皆さんを感動させ沢山の方がサイン入りCDを買って握手されておりました。中締めは、山下英巳新役員による3本締めで年賀会は、盛況のうちに無事終了しました。



●2025年度支部総会のご案内(予告)

2025年度の東京支部総会を6月14日(土)に開催します。
 ◇会 場 シーバンス N 館1F カンファレンス
 詳しくは、5月中旬に支部ホームページからご案内します。

●2025年度年会費、同好会会費振込のお願い

今回お届けした情報便同封の払込取扱票で2025年度の年会費、同好会会費を期日までに払込をお願いします。
 ◇振込期限 4月15日
 ◇金 額 東京支部会費 3,000円
 各同好会年会費 2,000円(1同好会当たり)
 (払い込み手数料は、ご負担ください)

お知らせ

●支部ホームページを刷新します

見ていただくホームページを目指し4月にリニューアルオープンします。(詳細は同梱の別紙チラシをご覧ください)

- ① メンバーサロンを無くし、一本化します。
- ② スマホで使いやすいスクロール型に変更します。
- ③ 会員情報など知りたい情報を追加します。

会員情報

●会員情報(1)

・1月末現在会員数 528名 準会員 18名
 STML 会員 456名 同好会加入 231名
 緊急連絡網 携帯メール 59名 FAX 17名

●会員情報(2)

・訃報 衷心よりご冥福をお祈り申し上げます

会員 No.	お 名 前	享 年	ご逝去日
1303	城市 邦男	86歳	12月4日
752	荒川 澄夫	89歳	1月15日

NEW 会社近況 シャープに関する情報をお届けします

◇「物故社員法要」を高野山で挙行

2024年10月19日(土)高野山にある当社の菩提寺、西南院(さいなんいん)において、物故社員および社友会物故者の法要を執り行いました。法要は今年で62回目を迎え、この1年間にお亡くなりになられた社員13柱、社友会69柱の計82柱を新たに合祀し、計2,385柱の御霊をお慰めしました。



◇ 2024年度 第3四半期決算を発表 (2月7日)

2024年度第3四半期のブランド事業の売上高は、3セグメントすべてが増収となり、3,918億円と前年同期を上回りました。営業利益についても、円安によるマイナス影響があるなか、全セグメントで増益を達成しており294億円となります。また、デバイス事業は減収となったものの、ディスプレイ事業の構造改革を進めた効果があり、営業赤字は前年同期の122億円の赤字に対して、50億円の赤字と大幅に縮小しました。経常利益・最終利益は、営業外損失として、為替差損が発生したこと、特別損失として、アセットライトに 関連する減損損失、事業構造改革費用を計上したことから、減益となりました。また、第3四半期までの業績を考慮し、通期の業績予想の見直しを行っております。

◇ JEMA が選定する技術功績者表彰

一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)が選定する「2024年度(第73回)電機工業技術功績者表彰」において「委員会活動最優秀賞」「優秀賞」「奨励賞」を受賞しました。「電機工業技術功績者表彰」は、毎年、新製品・新技術開発等によって優れた成果を挙げ、電機工業の進歩発達に貢献した方々を表彰するものです。

NEW 短い便り あの人は今…。

会員の皆様からお寄せ頂いたショートメッセージをご紹介します。
多くの会員の皆様からの投稿をお待ちしています。

矢田 英雄さん 1720

妻が事故を起こす前にとのことで運転免許証返納を決断しました。身分証明書の代わりになる「運転免許経歴証明書」(本人の写真付きで運転免許証と同じサイズ)を貰って来ました。私は2年後の免許更新の時、どうするか迷っています。返納者へのバスタクシー料金の割引などの特典もありますが各自自治体でかなりの違いがあるようです。

有田 知義さん 2586

八十路を迎え元気な毎日を過ごす為「食う・寝る・遊ぶ」を肝に銘じて過ごしています。家庭菜園で季節の野菜を育てて食うを楽しみ、歩こう会・遠遊会に加入し OB 仲間に刺激を貰って街歩きや山登りで遊んでいます。寝るは前立腺肥大の頻尿の為良質な睡眠が取れず治療に励んでいます。

臼井 輝一郎さん 5188

会社を離れ 15年、人付き合いが薄れる気がします。昨年腰を痛め以前の低山ハイキングも最近では行けません。YAMAP というアプリでハイキング記録を残すのもご無沙汰です。最近ではペット(鳥 6羽)との生活です。



有川 顯さん 2442

定年後ホノルルで勧誘され契約したタイムシェアを利用しての海外旅行にはまっています。ハワイ(オアフ・ハワイ・カウアイの各島)を始めとして、タイ・バンコク・プーケット、バリ島、国内では白馬八方尾根、軽井沢等でのリゾートライフを楽しんでいます。今年で83歳になりますが、まだまだ元気です。



柿本 政昭さん 3256

自分の車で全国制覇を目指していますが、昨年までに九州を除くのみとなりました。今年は完成したいと思っていますが、行くだけで(片道)ほぼ、一日必要であり、2~3週間まとめて休みが欲しいと願っている今日この頃です。



中村 典男さん 3692

七十歳を過ぎて腰痛になり長い距離が歩けずゴルフも不可。体力維持運動の他は家にこもりがちの毎日。しかしそのペースにも慣れて来て最近では若い頃からの趣味である音楽鑑賞で無聊を慰めています。未知の作品もまだまだ多く腰痛を忘れ聴き込むこともしばしばの今日この頃です。

大開 豊さん 1622

老後を健康で過ごすため続けている事が幾つかあります。
①睡眠を長く。夏は6時、冬は7時起床、就眠は10時までに。
②食事は規則正しく。減塩野菜と魚より肉類を多め酒は適度。
③趣味を続ける。ゴルフは週3回月水金に1日2時間の練習。
④日常の買い物をする。季節を感じ取り経済観も養えます。
⑤料理作りを手伝います。作れるメニューも随分増えてます。
楽しく元気で85歳を謳歌しています。

日々是好日

夏はカヌー、冬はスキー、時々ポタリングと大雪山散歩!!

中島 修二さん 5656

北海道の四季はメリハリがはっきりしていると言われるが最近では春と秋が短くなったように感じる、夏も暑くなって長くなったように思う。昭和 49 年に北海道に渡って来た。北海道の人と縁を結び一男一女に恵まれ、終の棲家も北海道と決めた。(諸先輩に感謝)25歳の時に始めたスキー、30代後半から同じ九州出身の作家でカヌーイストの野田知佑の「日本の川を旅する」に刺激を受けて始めたカヌー、60歳の定年を迎えて健康維持の為に始めた「ポタリング」が私の趣味だ。春から夏にカヌー&キャンプ、夏から秋にポタリング(英語の potter「目的もなくゆっくりうろつく、散歩する」とサイクリングを合わせた和製英語で、自転車による散歩)。そして冬はスキー。多趣味だね、多彩だねと言われるが北海道では年間通じて取組めるスポーツは少ない。だから夏はカヌー、冬はスキー、時々ポタリングと大雪山散歩となった。スキーは始めて 50 年、カヌーは 30 年、よく続いていると思う。

私がやっているカヌーは競技カヌーではない。DR(ダウンリバー)川下りだ。流を見るとアドレナリンが湧いてくる(笑)北海道の大自然を感じる、危険もある、冷たい雪解けの水の中を何度も泳いだ、罷とも数回遭遇した。川には流れが速く波の高い瀬がある。瀬の波の高さやスピード、形状でグレードがある。グレードの高い瀬を沈せずクリアできた時は達成感と爽快感で最高の気分だ。まだ白い雪が残る山並みを眺め春の冷たい川を下るカヌー。初夏、新緑の中キラキラと輝く川面を下る、秋、紅く染まった峡谷を下るカヌーと四季折々の自然の移ろいとともに私のカヌーライフはある。

3年前の 70 歳の時、カヌークラブの若いメンバーから四国の吉野川、大歩危小歩危遠征に誘われた。日本では激流として有名な川だ。今の自分の体力、スキルで大丈夫だろうか? 自問自答していた時、友人の若いラフティングガイドから、先輩!! 20 年前のリベンジに行きましょう!! 気持ちは決まった。

人生の晩年にさしかかって、思いもよらないアドベンチャーな、充実した日々を過ごすことができた。感謝。

定年の時、ただのカヌー好きの爺様で終わるのか、いや時間もあつち、もうちょっと踏込んで見ようと「北海道アウトドアガイド(カヌーガイド)」の学科試験を受けることにした。カヌー操船スキル、北海道の歴史(アイヌ文化含む)、気象、北海道の自然、動物と言った内容だ。北海道を改めて知る機会にもなった。合格した。

また新しい一年がはじまる。私にとってはカヌーが



始まる4月が年の初めだ。月 10 日程度のシルバー人材センターでの仕事、そして「夏はカヌー、冬はスキー、時々ポタリングと大雪山散歩!!」楽しい一年が始まる。

ある方に言われた「努力には限界があるが、楽しさは無限だ」これからも好奇心旺盛に楽しく

生きることに精進します(笑)感謝。

NEW 塵裡偷閑

酒坊のペンネームで本紙の四季酩酊シリーズに永くエッセイを寄稿載ってきた上原稔さんはとりゅう会会長として元気に活躍されています。この度「塵裡偷閑」という題名で句文集を刊行されましたので一部編集させていただき、皆様にシリーズ

でお届けします。四季酩酊で紹介したのもも混ぜていますが、川柳と一緒に読み頂けたら幸いです。



句文集 塵裡偷閑

私家版 句文集 塵裡じんりひまぬすに閑を偷む

第1回

陸橋で釣り糸垂れるソクラテス

川柳の虜

上原 稔

川柳は省略の文学 一音一字もおろそかにできない だから推敲を重ねる 川柳人の高齢や減少を杞憂したり 嘆いたりしない なぜなら文学はつむものではない

川柳の方向性が違っても 志が高く鑄を削る同士が柳友だ 茶飲み友だちではない

川柳は人間を詠む 笑いを詠む 本音を詠む 感動を詠む つまらない句を詠まない

時事吟やユーモア吟や印象吟は不器用でぼくにはできないから 永い間かけて培った純文学的な川柳を詠む

ぼくは世界でいちばん短い詩にあこがれと渴求と誇りを持って 川柳の虜の中にいる

2009年

言の葉を紡ぎいのちを謳いあげ 父に似てきた嘘くさい息を吐く ややこしい手帳燃やした妻の留守 住民の眼はカメラより高感度 籍を抜き大声張って「かぎやあ〜」 石の橋どこかにあるぞ落とし穴



おくつき 奥津城

その時、私は工業高校電気科の生徒だった。工業高校と言っても現在のレベルで判断されては困る。昭和34年、日本はまだ貧しかった。我が家も貧しかった。富士屋という屋号で「鯉節屋」を営んでいたが裕福ではなかった。(戦前は日暮里で大店だった写真がある)だから、普通高校に進学して大学に行けなかったといえば親を愚弄することになる。現に3つ上の姉は、一浪したが大学に行っている。勉強は嫌いだったが、漠然と小説家を夢見ていた。小説家になるには、早稲田大学と勝手に思っていたが、「文科では食っていけない」と父に猛反対され、あっさり諦めた。

プライドがあったのか東京工業大学付属高校を受験したが弾かれ、都立蔵前工業電気科を受けた。答え合わせをすると、9科目730点のボーダーラインだった。経済的に余裕の無い家の子供の集まりだったが、頭のいい奴ばかりだった。

中学の時に全校で2番の成績を取ったこともある私でも奴らには歯が立たなかった。

2年の3学期に同人雑誌を作る話があり、私は編集を担当した。同人雑誌といっても原稿用紙を綴じた回覧誌である。この時に誰かが言った「奥津城」が雑誌名になったが、私には意味が解らなかった。

昭和37年、卒業記念にと同級生全員のカンパを受けて、印刷製本を出すことになった。文京区の中央孔版に頼んで、90頁の奥津城が出来上がった。小説あり詩あり随筆あり童話もあった。こんなことが工業高校の電気科で起きたのである。好きで職業校を選んだ人たちではなかった。私は11頁の枠を貰い『躊躇する事なく情熱を込めて』という題の青春恋物語を載せた卒業して就職しても小説への憧れは消えなかった。

小説の原点にいる回覧誌 (2016)

2010年

始まりは太陽 始まりは女性 デジタルが映らぬテレビただの箱 好きだからあなたの過去に嫉妬する 三叉路で手を差し伸べる羅漢さま 天狗の鼻は張りぼてで折れやすい メタボには断食という処方箋 桃色の吐息も青く倦怠期 姫ひとり望んでいたがまた太郎 埋火がほむらに変わる宵の酒 やわらかに回り回ってもとの鞘 コンパスの小さな○に住んでいる 共鳴し昂揚 酒飲んで気焰



詩と小説の二人誌

文学青年



上原 稔

6月19日の桜桃忌が近づいてきた。小説家太幸治の墓のある禅林寺を訪ねた昔が懐かしい。こまかい雨がふっていた。内気な性格の私は小説を乱読した揚句、不幸にも太幸文学に当

ってしまった。頹廢的な作品に共感を覚え、坂口安吾や織田作之助など無頼派作家を読み漁り、高見順を好んだ。同人誌「奥津城」を発行して小説らしきものを書き、「乳香」という掌編が商業誌に載ったのは高校生のときである。



芥川龍之介

詩と小説の二人誌「虜」は卒業してから出した。自称詩人の友に「今は仮の仕事で本業は小説家というのを忘れるな」と呑むたびに云われた。最年少で芥川賞を取る、などとほざいていた。20歳少し前に転勤になった北の古い街に産業は無く、男たちは札幌や東京、或いは北洋漁業へ出て行き圧倒的に女性の多い街だった。若い女の働き場所は夜の飲み屋街で、暗い灯りの下には街娼が溢れるほどいて、私小説が読まれ演歌が流行った貧しい時代だった。文士かぶれの長髪の若者は夜ごと繁華街を徘徊して鯨飲し、風体や言動から周りに「文学青年」と呼ばれたが自慢できる小説がない。酒と恋に溺れた。「墮落しなければいい小説は書けない」無頼派作家の身上を真似、脳を酒で麻痺させ原稿用紙を埋めるが、未完ばかりの「似非文士」だった。

破滅寸前に社内結婚し娘も生まれ7年経って内地(北海道での本州の呼び名)に戻る間に「奇妙な関係」が小説新潮の賞を受けた。推理小説風の作品である。

道を究めて行けばそのような風貌になる。仕事と家庭が小説家のような風采を削いで行くが、心情は持ち続け、小さな賞を貰い小説集も出した。作家は時代の変化を共有するか先取りをしなければならない。感性は衰え落選の憂き目は続くが作風を工夫し挑戦している。

世相も変わり「文士」とか「文学青年」という言葉はもはや死語になってしまった。

文学を目覚めさせたのは龍之「鼻」 (2008)

同好会便り

WOB会

高齢化と参加者減少と闘いながら皆さん楽しんでます。若い世代の積極参加をお待ちしています。

◇第231回 紫あやめ東10/24(木)

曇り時々晴れ 参加18名

10月後半にしては気温やや高めで絶好のコンディションで楽しくプレイすることができました。ベストは豊田会長でグロス84

◇第232回 紫あやめ西 11/28(木)

晴れ 参加18名

冬の季節に入りましたが気温17℃で最高のゴルフコンディションで楽しくプレイできました。ベストは豊田会長でグロス86

◇第233回 紫あやめ東 12/19(木)

晴れ 参加23名

東京支部30周年記念大会として開催しました。前半は残雪と湿ったフェアウェイで四苦八苦。後半は記念大会を祝すような晴れで楽しくプレイできました。ベストは豊田会長でグロス85

順位	お名前	GROSS	HC	NET
優勝	崔岡芳夫	86	15	71
準優勝	吉田富夫	87	15	72
第3位	吉田 勲	102	29	73

順位	お名前	GROSS	HC	NET
優勝	平山琢治	106	36	70
準優勝	松石圭造	101	26	75
第3位	渡部 大	97	21	76

順位	お名前	GROSS	HC	NET
優勝	竹中育栄	90	19	71
準優勝	吉田富夫	86	14	72
第3位	矢島五一	94	22	72



毎回の例会に参加された方に楽しい思い出を持って帰ってもらえるよう

毎回志向を変えてコース選択などを工夫しています。

◇第285回 (ゲゲゲ散歩と深大寺蕎麦) 11/16

ゲゲゲの鬼太郎が代表作の、水木しげる先生のゆかりの地、調布を亡くなられた月の11月に歩きました。調布市は先生が晩年まで約50年住まいされた場所です。

鬼太郎をテーマにした「鬼太郎ひろば」・「妖怪ポスト」・「鬼太郎マンホール」・布田天神社の参道「天神通り」の鬼太郎のモニュメントなどを見学した後、都内では浅草寺に次いで古いお寺といわれる「深大寺」に向かいます。深大寺では専門のガイドさんに案内していただきました。お待ちかねのお昼ご飯は名物「深大寺蕎麦」です。コンのある茹でたての蕎麦を満喫したあと深大寺城址の見学で腹ごなしをして解散となりました。

参加 23名

健康歩こう会



おいしかった深大寺蕎麦

◇第286回(早稲田周辺を歩く) 12/21

3月に実施した「都電荒川線に乗って沿線ぶらり旅」の際、時間不足で早稲田地区を散策出来なかったので今回は早稲田地区に絞り散策しました。最大の見所は、「早稲田大学」です。広いキャンパスの中でも、皆さんが興味を持ったのが「早慶戦発祥の地」(第1回試合が行われた場所)です。早慶戦が発展して、現在は6大学野球となっていますが有名な早慶戦の始まったところに「なるほど」の反応でした。これ以外には、「肥後細川庭園」や「夏目漱石」生誕の地、終焉の地(漱石山房記念館となっています)などで知識を深めることができました。

この後、早稲田駅近くの四川料理店で希望者により懇親会で盛り上がりました。

参加25名



大隈講堂を見つめる大隈重信像

・月例会12月5日東京都小石川後楽園 参加者 11名

東京の紅葉時期は11~12月です。今回は名園と紅葉を求めての撮影会です。小石川後楽園は東京ドームの近傍にあります水戸光圀公ゆかりの庭園であり園内には蓬萊島、竹生島を浮かべた大泉水を中心に配した回遊式庭園です。紅葉林が今盛りとなっており、円月橋、音羽の滝、唐門周辺の紅葉が見事で格好の被写体となっております。

・月例会2月20日勉強会 幕張ビル 参加者 13名

今年の勉強会も昨年同様外部講師に依頼せず会員のみの勉強会です。事前に何をテーマにするかアンケート調査を行い、希望が多かった「RAW 現像」手法について知識を深める事にしました。最初は画像の成り立ちの説明。次にデジタルカメラの画像保存方式の特徴の説明がありました。カメラの画像保存は JPEG、RAW の2方式が主流となっていますが多く使用されているのは JPEG 方式です。JPEG 方式はカメラの設定により画像を圧縮保存するので、汎用性がありません。RAW 画像は現像ソフトにより露出補正、色調、コントラスト、ホワイトバランス等自分好みに調整できます。実演ではカメラメーカー専用ソフト、市販有料ソフトの両方を比較確認しました。又会員が個人で参加しているフォトクラブの先生によるフォトクラブ会員作品への批評をビデオにより視聴し大いに勉強になりました。

・今後の予定 例会お試し参加大歓迎です。スマホカメラでも OK です。

写そう会



4月17日(木)	新宿御苑 風景
5月15日(木)	皇居東御苑 風景
6月19日(木)	鎌倉 風景

ボウリング同好会

■第220回(11月19日)荻窪ボウル

優勝	朝子正和	589点
準優勝	長島伸行	555点
3位	小針武夫	550点

朝子さん7ヵ月ぶり14回目の優勝

■第221回(12月17日)荻窪ボウル

優勝	吉田 勲	616点
準優勝	朝子正和	572点
3位	田沼 稔	568点

吉田さん7年9ヵ月ぶり8回目の優勝



■第222回(1月21日)荻窪ボウル

優勝	朝子正和	571点
準優勝	北村卓士	541点
3位	戸泉龍男	536点

朝子さん先々月に続き15回目の優勝

■第223回(2月18日)荻窪ボウル

優勝	田沼 稔	581点
準優勝	朝子正和	560点
3位	戸泉龍男	549点

田沼さん7ヵ月ぶり22目の優勝



■今後の予定

第224回	3月18日(火)	荻窪ボウル
第225回	4月15日(火)	荻窪ボウル
第226回	5月20日(火)	荻窪ボウル
第227回	6月17日(火)	荻窪ボウル

青砥ボウルが昨年1月に閉鎖となり例会の会場が荻窪ボウルだけになって2月と4月の例会でグロスで200アップが出ましたがレーンのメンテが変わったのかそれ以後200アップが出ていませんでした。今回の例会で朝子さんが10ヵ月ぶりに219を出しました。

とうりゅう会では、毎月の句会を投句に変えて行っています。皆さんの体調面より、無理の無いように。句会と同じ効果が出ております。

とうりゅう会 (川柳)

■2025年2月の、会員の方々の句をご紹介します。

お題【やれやれ】	出題:酒坊	お題【約束】	出題:せいじ
出来ましたスマホで挑む申告書	みのる (成井 実)	約束にまた叱られる空財布	早苗 (山口 先生)
子育てを済ませやれやれ次は孫	せいじ (成田 征二)	停戦の約束守らぬえらい人	いちお (野村 一男)
五本指靴下爪が引っかかる	酒坊 (上原 稔)	約束を守らないのが自民党	ヨシ (嶋 義行)
フジ騒動やれやれ誰をかぼうのか	ヨシ (嶋 義行)	守秘義務を盾に取られて動けない	酒坊 (上原 稔)
八十代やれやれ近い終着地	いちお (野村 一男)	約束を破った罰は針千本	せいじ (成田 征二)
楽しいとおっしゃる国の物価高	早苗 (山口 先生)	拉致問題何度切っても空手形	みのる (成井 実)

■とうりゅう会へのお誘い

川柳を詠むことで、ストレスには効果大と思われます。自宅に居ながら投句出来ますよ。

■毎月の投句の締め切りは、当面10日前後としています。

皆様のご参加をお待ちしています。



2024年度は社友会東京支部発足30周年の記念年であり、カラオケ同好会の例会参加人数を募っております。然しながら、希望している参加人数には及ばない状況で推移しています。参加者の顔ぶれは二極分化の傾向を示しており、カラオケに参加される方は毎月参加であり、不参加の方は継続不参加の状況です。今やコロナ禍は過ぎ去っておりますので、カラオケ部屋は安心安全な場所と云えます。皆様 気楽にカラオケで懇親を深めませんか。歌う前の緊張感、歌っている時の高揚感、歌った後の安堵感が醍醐味です。(お試し参加を大歓迎しております。)

カラオケ同好会

■直近の例会結果

実施日	回数	参加者
11月2日(土)	第120回	11名
12月7日(土)	第121回	14名
1月4日(土)	第122回	12名
2月1日(土)	第123回	15名



■今後の開催スケジュール

実施予定日	回数	会場
4月5日(土)	第125回	パセラ
5月3日(土)	第126回	上野御徒町店
6月7日(土)	第127回	



ブロック便り

第一ブロック

東京・新潟・長野・山梨他地区

第1ブロックでは、普段行くことができない場所の見学を主体にイベントを計画しています。参加された会員から「いつも良い企画をしてもらい有り難う」の言葉が聞かれ、今回も参加された会員から喜びと満足の声が寄せられました。

●第14回イベントは「警視庁見学」を実施しました 11月12日 19名参加
行くことができない場所の見学第3弾は「警視庁」です。本庁の「通信指令室」では23区内からの110番通報を受信して、パトカー、地域の交番などに処理を委託しています。この後、別の場所にある「交通指令センター」での見学です。都内の交通をスムーズに流れるよう色々な意図したいろいろな工夫を知ることができました。



あたらしい白バイ隊員誕生です

●第15回イベントは「相撲博物館と忘年会」を実施しました 12月10日 15名参加
第4弾は相撲博物館です。定期的に展示内容を入れ替えています。我々が行った時には「19代横綱常陸山」の生涯の展示や遺品が展示されていました。同じ建物には「土産物売店」があり、ここでしか買うことができない品物などを中心にみんな家族への土産を買っていました。この後、一行はすぐ近くの「旧安田庭園」で憩いのひと時を過ごします。折からの好天気恵まれ、結婚式の前撮り撮影をするグループが3組から4組もいて撮影に邪魔にならないよう注意しながらの散策です。忘年会はJR両国駅前のちゃんこ専門店ですり盛り上がりました。



メインのちゃんこ鍋

(記 柿本政昭)

「横浜関内歴史エリア散策」と「横浜中華街・クリスマス忘年会」を開催しました

第二ブロック

神奈川・静岡地区

■開催日 12月14日(土) 開催場所 中華街大珍楼 参加者 20名
日頃気にしていなかった開港以来の歴史的建造物を見学しました。「横浜開港記念館」、中を見るのは初めての方が多く、明治の建築技術やステンドグラスに興味深々でした。参加者は“素晴らしい”を連発！そして幸運をもたらすという3塔ビューポイントを確認し、散策の定番山下公園に。氷川丸や飛鳥IIにも歓迎されて、のんびり。お昼になって中華街大珍楼で早速盛大に忘年会です。会場に直行した会員もいて20名の参加者になって賑やかになりました。久しぶりの再会に会話も弾み盛り上がり。途中「サンタオジサン」が乱入、参加者へプレゼント、これには全員笑顔に！賑やかな会話も一層弾んで大層盛り上がり、楽しかったの声で散会となりました。



第2ブロックでは幹事会を開催し、今後会員の皆様に参加してみたいと思っただけのイベントを検討しております。より広く皆様方のご要望をお聞きしたいと思っています、是非お知らせ下さい。

◇ 群馬地区在住会員代表と Zoom 会義を開催しました

第三ブロック

埼玉・群馬・栃木・茨城地区

第3ブロックでは過日群馬地区代表のお二人と支部長、顧問を交えオンライン会議を開催し。今後の当該地区会員の社友会活動参加について打ち合わせを行ないました。結果を受けて、ブロックの今後の活動企画に反映して参ります。

春季イベント「小江戸川越 蔵造り通り散策」のご案内

埼玉県で一番行ってみたい町・川越市は、江戸時代の蔵造りの建物が多くそのままのレトロな情緒を楽しむことから、「小江戸」と呼ばれ、外人観光客からも人気があります。今回は、まず由緒あるお寺「蓮馨寺(れんこうじ)」と境内の桜の花を愛でてからスタート。蔵造り通りのお店を食べ歩きで散策します。又、毎年70万人もの見物客が集まる「川越まつり」の「鉾」が展示されている「まつり会館」を見学。その後昔ながらの駄菓子店が集まる「菓子屋横丁」を散策後、「浪漫茶房 右門」で美味しい和食を頂きます。

奮ってのご参加をお待ちいたしております。

記

- 開催日時: 令和7年3月26日(水) 10:00~13:00
□集合場所 10:00 JR・東武川越駅 改札をでた突き当たり案内板前
□会費: 2,000円(まつり会館入場料+食事代) 不足分はブロック負担
□交通費支援: 群馬県・栃木県・茨城県の方には 2,000円
□申込締切: 3月15日(土)



蔵造り通り



菓子屋横丁

支部発足 30 周年記念「特別講演会(健康講座)」を開催

東京支部発足30周年記念の一環として第4ブロック主催のオープンイベント「健康講座」をシャープ幕張ビルで開催しました。

□ 開催日:2024年10月25日(金) □参加人数:25名

講師は元シャープ員で、現在国際医療福祉大学教授の柘 幸伸(ひいらぎ ゆきのぶ)様をお招きして「元気に年をとるには」～高齢者研究から介護予防に～と題しリハビリテーション専門職から見た高齢者研究から介護予防に～と題しリハビリテーション専門職から見た高齢者の特性と介護予防に関する講演をして頂きました。

松戸 戸定邸～野菊の墓から矢切の渡りで柴又上陸

□ 開催日:2024年2月23日(日) □参加人数:19名

松戸の名所の一つ水戸藩最後の藩主(11代)であり、江戸幕府最後の将軍徳川慶喜の弟、徳川昭武が造った別邸『戸定邸(とじょうてい)』をガイド付きで見学。伊東佐千夫の初小説『野菊の墓』の文学碑を見て、矢切と柴又を結ぶ『矢切の渡し』で約10分間の舟旅で葛飾に上陸!柴又駅近くの新店「寄り道酒場」でクム子鍋(締めラーメン)や鳥皮餃子などを食べながら飲み放題の昼飲みを堪能、その後『柴又帝釈天経寺』でお参りをし、解散。日本庭園『山本亭』、『葛飾柴又寅さん記念館』など各々柴又を散策しました。

初夏に向け新たなイベントを企画中です、乞うご期待!!

第四ブロック 千葉地区



2025年新春懇談会を開催いたしました!!

北海道ブロック

年が明けて以降雪らしき物が無い。札幌中心部の路地裏を歩いて見たが、道が乾いている。例年であれば幹線道路も路地裏も圧雪アイスバーンのはず?雪まつりの雪像づくりに支障が出ているようだ。そんな記録的な暖冬の1月27日(月)に北海道ブロック新春懇談会を開催いたしました。(翌日から道内は大荒れで、特に太平洋側では記録的な降雪が、帯広では0だった積雪が120cmに)参加者17名。福嶋ブロック委員の司会進行の元、まず辻田ブロック長から2025年は昭和100年、戦後80年、社名がシャープになって55年等々、キリの良い年のスタート。シャープもアセットライトの話題が多いが頑張してほしい。会員には健康維持のポイントは3つあって、究極のパワーは「つながりパワー」、社友会活動、同好会活動でつながりパワーを活用して健康維持に努めようとのご挨拶がありました来賓のシャープマーケティングジャパン(株)北日本エリア足立統轄部長様からは、現状の取組みや社員の皆さんの近況をお聞きました。後輩たち、頑張っているなどの印象を持ちました。お話の中で北海道の社員の平均年齢が40歳以下だとお聞きました。驚きです。活力に溢れる職場が想像できました。議事では社友会活動のさらなる活性化を推進すべく、同好会活動の積極的な取組みとシャープ北海道同窓会、新春懇談会の開催が決議されました。第2部はビアホール「ライオン狸小路店」で懇親会。昔はこうだったよね、あの人は元気?毎日何してる?菜園、ゴルフ、パークG、ここが痛い、あそこが痛い.....etc。話は尽きないが、内容はいつもと変化はないようだ(笑)、でもそんな会話が楽しい懇親会でした。次は秋の北海道同窓会です。元気でお会いしましょう。



活動カレンダー

Calendar table with columns for months (4月, 5月, 6月) and days of the week, listing various events and dates.